

プロの掃除技で ラクラク大掃除。



年末のこの時期に、一年間の汚れをリセットしたい、バス&トイレ。今回は数々の現場経験から試行錯誤してきた、プロの視点で大掃除のコツをお届けします。

**KAJI
TAKU**
家事の宅配

サービス提供会社
プロのお掃除・宅配クリーニング
株式会社カジタク(イオングループ)

見積り不要で一律価格のハウスクリーニングや自宅から宅配便で送る宅配クリーニングなど、暮らしをとことん便利にする家事サービスを全国にお届けしている。プロの整理収納アドバイザーが訪問する「片付け名人」が人気急増中。
<http://www.kajitaku.com/>

【バス】

①カビ汚れなら 濡らさず塗布



手を洗うときに、濡らさずに石鹸を手にする人はあまりいいですね。自然と身についてしまった水に濡らした後に洗剤をまく習慣。しかし、お掃除のシーンでは水が含まれると汚れ落ちが悪くなるものもあります。その二つがカビ汚れ。汚れに成分を長時間浸透させるためにも、乾いた状態で吹き付けましょう。また、洗い流す場合は、カビの繁殖に適した温度を避けるよう、水を使う方がおすすめです。

②万能！水きりネット

ぬめり、髪詰まり、ピンク汚れにカビ汚れ…。排水口は誰もが触れることをなるべく避けたいお掃除箇所です。そこで便利なのがキッチンシンクの排水口用の水きりネット。取り除くのが大変な髪の毛もキャッチし、ポイッと摘みみだすだけで簡単お手入れ。ただし、サイズはご家庭によって異なるので、同じものが代用できない場合もあります。ご注意ください。

【トイレ】

①お掃除グッズは お風呂掃除と同じでOK



「本格的にキレイにするなら専用グッズを用意しないと…」張り切るほどに道具は増えてしまうもの。しかし、プロの方が目的に応じて、少ない道具や洗剤を使いこなすことにも長けています。たとえば、ブラシ。細かな部分から全体汚れまで手持ちの柄つきブラシやメラニンスポンジが便利。また、トイレの内側につきやすい黒い汚れは、お風呂用カビ取り洗剤でキレイに落とせますよ。

②食器用ダスターが大活躍

新築、リフォームしたてのようなピカピカさを出すのに便利なのが、食器用のダスター。本来はガラス等のうすいガラスも細かい繊維で磨き上げるものですが、これが水回りの鏡や金属部分の磨きあげにぴったり。お掃除専用の化学ぞうきんを買わなくてもストック品で毎日こまめに拭きあげること在家中きれいを目指しましょう。